

平成21年 高島市議会6月定例会 市長施政方針

ここでは、平成21年6月5日開会の高島市議会定例会で、西川市長が述べた施政方針の全文を掲載します。

「元気な高島」の創造に 全精力を傾注します

子育てしたくなる魅力あるまちに

提案説明に先立ち、私が表明しております7つのマニフェストの中から、今日の社会情勢において何が必要なのかを改めて考え、優先的に取り組むべきものについて、その施政方針の一端を申し述べさせていただきます。

市民の皆さまの願いは、「心をひとつに、安心して生活できる地域社会の実現」と「人と地域を大切にしたいまちづくり」であると確信しております。

このことから、「子育て支援」「市民の生活支援」「防災対策」および「地域経済対策」に重点を置き、市民の皆さまの目線に沿って施策を推進することが求められているものと認識しております。



たいと若い人から言われるような、魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えております。

最初に、「子育て支援」でございます。全国的にも少子化が急速に進んでおり、市内における年間出生者は、平成17年3月末では422人でありましたが、平成21年3月末では376人と減少してきております。子どもは、市の未来を託す希望の光であり、誰もが安心して子育てできる環境を整備して行かなければなりません。

高島市は、身近に豊かな自然が感じられ、心温かい人々のまちであります。そして、高島市で子育てをしたいと若い人から言われるような、魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えております。

生まれ育った地域でいつまでも

一時、公立高島総合病院の産科閉鎖という事態となりましたが、関係者による懸命な努力により、現在では再び診療体制が整備できているとさせていただきます。

次に、「市民の生活支援」でございます。高島市におきましては、少子化と併せて高齢化が、県内でも大きく進んでおりますことから、お年寄りが生活をしていくうえで多くの不安を感じ、先行きを心配しておられ、その対策が地域活力の向上を図るうえでも重要であると考えております。

来べき超高齢化社会を展望し、元気な高齢者から介護が必要な高齢者まで、それぞれの状態に応じた適切な対応とともに、生まれ育ったそれぞれの地域で助け合い、自立できる施策が必要ではないかと考えております。

また、本市の合併後において、財政再建を優先するあまりに地域基盤や情報格差の解消などのインフラ整備が十分でなかったことも、反省しなければなりません。



安心して暮らせるまちに

市民の皆さまが安心して、少しでも快適な生活を送っていただけるよう、次に、「防災対策」でございます。災害や緊急的な情報を、すべての住民に対し迅速・確実に伝達するために、平成18年度から計画的に防災行政無線の整備に努めており、今後も継続的に進めることにより、安心して生活できる環境の整備と提供をしてまいります。

計画的に各種事業の推進を図らなければならぬと考えております。に、地域ぐるみの防犯、防災体制の組織化と拡充を図り、子どもたちや高齢者の安全確保に万全を期して、また、消防体制の強化にも力を注いでまいります。

市民と市内を元気に！

昨今、頻発しております自然災害のみならず、新型インフルエンザや健康に関する問題、不審者や高齢者を狙う詐欺事件、大規模な事件や事故など、私たちの身の回りには多くの危機が存在しております。

最後に、「地域経済対策」についてであります。昨年11月から世界経済が急速に悪化の一途をたどり、半年もたたない内に日本経済も大きく変貌いたしました。

今、私たちに求められているのは、紛れもなく『経済』いわゆる「経済世帯」の心であります。これは中国の古語で直訳しますと、「世をおさめ・民の苦しみを救う」ということでもあります。今、高島市においても、まさに、「元気な市民・高島市」へと導くための支援が必要であり、求められているものと考えております。

民間による社会活動によって、また、行政が連携していくことにより、そのことが市民と市内を元気にすることであり、高島市の活性化に、つ



ながっていくものと信じております。グローバル経済が破綻に近い今、市民の福祉や医療など市民生活の安定に必要なセーフティネットをつくり構築し、いすれ回復する景気に対し、いち早く対応ができるよう「高島市経済」を支えていかなければなりません。

市財政が厳しい中ではございますが、「元気な高島」が創造できるよう、行政の役割と責任を自覚しながら最大限の努力を傾注しなければならぬと考えております。

国におきましては、平成21年度補正予算案が今国会に提出され、この度、成立したところでございます。これによる地域活性化対策として、経済危機対策臨時交付金および公共投資臨時交付金などが交付される見

込みでありますことから、7月にも更なる補正予算(案)をお示しさせていただきます予定でございますので、ご了承をいただきますようお願い申し上げます。

以上、私の市政運営にあたりましての基本的な考え方について申し上げます。今回の補正予算(案)は市内の経済を少しでも回復基調に導けるよう、また、今どのような施策が必要なのかを見極め、提案させていただきますのでございます。

結びに、5年目をスタートした高島市が抱える困難な課題を、市議会議員の皆さまとの議論を重ねることにより、信頼関係と認識を共有して、更なる発展へと導ける市政運営に邁進する所存でございます。

厳しい時代であればこそ、市民の皆さま、そして議員各位のお力が必要であります。この難局を乗り越えるためにも、是非とも皆さまには絶大なご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げ、本6月定例会にあたりましての施政方針とさせていただきます。



あらゆる危機を想定して、国や県、近隣自治体との緊密な連携と、迅速な対応ができる体制を整えることも